

恵庭市中小企業振興審議会（令和7年度 第2回） 会議録

- 日 時 令和8年2月4日（水）10：00～10：45
- 場 所 恵庭市役所 301・302 会議室
- 出席者 玉川委員（会長）、宮崎委員（副会長）、安藤委員、伊藤委員、塚崎委員、加藤委員、成田委員、山口委員、 計8名
- 欠席者 尾谷委員、本間委員、小塚委員 計3名
- 傍聴者 なし
- 事務局 江川経済部長、嘉屋経済部次長、岡田経済振興室長、上山商工労働課長、高橋花と緑・観光課主査、榎本商工労働課主査、遠藤商工労働課主査、松岡商工労働課主事 計8名

1. 開 会

<開会宣言>

本会議は、恵庭市中小企業振興基本条例第11条の規定により、委員の過半数の出席により成立することとなっている。本日は委員11名のうち、過半数を超える8名の出席をいただき、委員の過半数を超えていることから、本会議は成立する。

2. 委任状交付

委員の変更により委嘱状を交付予定だったが、該当者欠席のため省略。

3. 挨拶

開催にあたり、江川部長より挨拶。

4. 議事

(1) 第3期恵庭市中小企業振興基本計画（案）について

（事務局より説明後、審議）

委員

まずは前回の審議会や専門部会によって反映された内容について確認したい。ファイ

ターズ新拠点という文言について、新拠点の場所がどこになるろうともというイメージなのか。

事務局：おっしゃる通り、二軍の移転が恵庭に決まった場合でも可能な表現にしており、また、仮に残念な結果になった場合でも、エスコンが隣の市にあるため、両方が含まれるような表現をあえて使わせていただいている。

委員：38 ページ数値目標の廃業数について、5 年間で 485 件というのは市内の実数か。また、目標値の 480 というのはこのぐらいは廃業するだろうという見込みなのか。それとも 5 件は削減したいという目標なのか。

事務局：485 件という数字は調査から得た実数。目標値についても、過去の調査の結果から減少率等考慮して推計したもの。見込みというよりは削減後の目標値である。

委員：同じく数値目標の市内取引状況について、令和 2 年度から令和 6 年度にかけては減少傾向という中で、10%という目標値を設定した意図は。

事務局：7.1%というのが令和 6 年度に実施した経営実態改善調査の結果であり、事業者が回答時に対象とする年度は令和 5 年度の状況も含まれるため、まだコロナ禍の影響があり市内取引の状況が下がった可能性があることから、第 2 期の計画の目標値であった 10%のまま継続としている。

委員：廃業数の目標というのは違和感がある。目標として挙げるなら半減や 0 などが適切ではないか。

事務局：廃業数の目標値は第 2 期計画にはなかったもの。専門部会で廃業数も可視化して入れた方がよいとのご意見をいただき記載したが、掲載については改めて検討することとしたい。

委員：目標の中に入れなくとも、廃業数を実数として記載するだけでもよいかもしれない。

事務局：もちろん廃業数を 480 まで目指すというものではない。極論は 0 に近づけるほうが良いため、この表現については、事務局のほうで修正させていただく。

事務局：廃業数については 12 ページの上の表に実績値を記載している。目標値は定めず、廃業数を減らすような取り組みをしますというような表現も考えられる。今後検討していく。

委員：今回で計画修正が最後となり、先ほど意見があった廃業数の部分がメインの修

正になると思う。そこに関しては事務局に一任することとしたい。

事務局：修正後、結果を委員のみなさまに報告する。

委員：人口の推移について、ラピダスの影響による人口増加などは記載しないのか。

事務局：こちらについては国立社会保障人口問題研究所の推計値だが、この数値は、中小企業振興基本計画の上位の計画である第6期総合計画という市の最上位の計画で用いている数値であり、総合計画と合わせているものである。

委員：中小企業振興基本計画は5年ごとの改訂のため、次の改訂までには総合計画の数字も変わってくると思う。

事務局：推計値のため、社会情勢の変化によって増減が必ず出てくるためご理解いただきたい。

委員：ぜひ上位の計画策定のときには、希望的な目標数値を期待している声もあることをお伝えいただきたい。

(2) その他

今後のスケジュールについて事務局より説明。

5. 閉会

以上